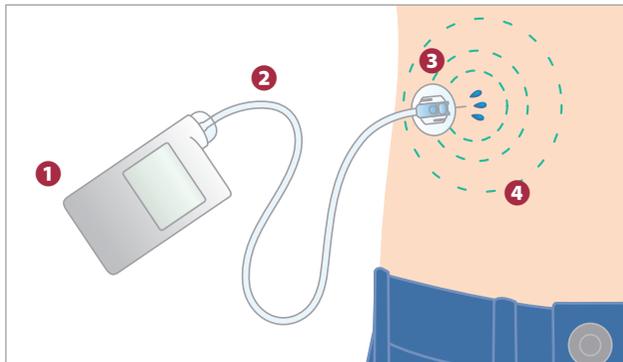


インスリンポンプ療法の紹介

インスリンポンプ療法とは？

インスリンポンプは、あなたの身体のインスリン必要量に合った少量の超速攻型インスリンを体内に注入する携帯型の小型機器です。

インスリンの注入方法とは？



- 1 インスリンポンプは昼夜を通して設定したインスリン量(基礎注入)を注入するようにプログラムされています。
- 2 柔軟性のあるチューブによってインスリンがインスリンポンプから注入セットに送られます。
- 3 皮下に留置した細く柔らかいカニューレを通して少量ずつ、インスリンを体内に注入します。
- 4 インスリンが体内に吸収されます。

インスリンポンプによるインスリン注入方法とは？

インスリンポンプによって体内にインスリンを注入する方法は2つあります。基礎(ベース)注入と追加(ボース)注入です。



基礎(ベース)注入とは、食事以外の時間帯に目標血糖値を維持するため、24時間365日持続的に少量のインスリンを注入する方法です。



追加(ボース)注入とは、主に食事や間食時に必要となる追加のインスリン注入のこと。高血糖を正常値に戻すときに必要量のインスリンを注入する方法です。

インスリンポンプ療法が選ばれる理由とは？

- 食事や運動、学校生活に合わせた治療が可能になります
- 多彩なメニューにより、ニーズに合わせたインスリン注入や停止が可能になります
- 重篤な高血糖や低血糖予防に繋がります
- 糖尿病の合併症リスクを軽減させます

インスリンポンプ療法に関する情報をチェックできるウェブサイト

「**インスリンポンプ療法.jp**」

<http://www.medtronic-dm.jp>

インスリンポンプ療法.jp



提供: 日本メドトロニック株式会社

(2014年12月公開予定)

スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます

お問い合わせは当院まで

参考文献:

1. Bode BW, Steed RD, Davidson PC. Reduction in severe hypoglycemia with long-term continuous subcutaneous insulin infusion in Type 1 diabetes. *Diabetes Care*. 1996;19:324-327
2. The Diabetes Control and Complications Trial Research Group. The effect of intensive treatment of diabetes on the development and progression of long-term complications in insulin-dependent diabetes mellitus. *NEJM*. 1993;329:977-986

販売名: メドトロニック ミニメド600シリーズ
医療機器承認番号: 22500BZX00369000

販売名: パラダイム リザーバー
医療機器承認番号: 21800BZY10166000

販売名: パラダイム インスリンポンプ
医療機器承認番号: 21700BZY00314000

販売名: インスリンポンプ 注入セット
医療機器承認番号: 225ACBZX00013000



日本メドトロニック株式会社 ダイアビータス事業部

〒105-0021 東京都港区東新橋2-14-1

www.medtronic.co.jp



インスリンポンプ療法について

10代の患者さんと
保護者の方へ



“治療に合わせた生活”から
“生活に合わせたインスリンポンプ療法”へ
そして笑顔あふれる毎日を

もっと自由に、あなたらしく

～インスリンに合わせた生活からライフスタイルに合わせたインスリン調整を実現させましょう～

もっと自由に

授業中、食事中、お友達との時間も楽しく

- かんたんなボタン操作により人前で目立たずにインスリン注入ができます。
- かんたんに細かくインスリン注入ができ、途中でインスリン注入を中止することもできるため、お友達との食事なども安心して楽しめます。

ちょっとでも注射の回数を少なく、あなたらしい生活を…

- インスリン注入のための針を刺す操作は2～3日に1回の頻度です。*
- 取り外しもかんたんにできるため、お風呂やプールに入ることができます。

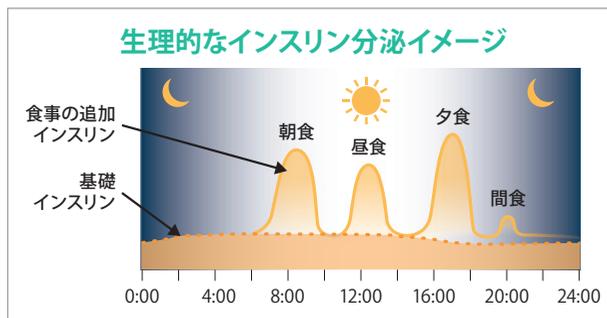
* 1日4回以上の血糖自己測定は引き続き行ってください



もっとあなたらしく

あなたに合わせたインスリン注入を可能に

- 基礎インスリンを時間ごとに細かく設定できるため、高血糖や低血糖などの血糖変動を安定させることが可能になり、月経周期や成長期などのホルモンバランスの変化や、シックデイへの対応も期待できます。



部活動や、急な外出なども安心

- 基礎インスリンを必要なタイミングで増加減することができるため、部活動、急な予定変更など、場面に合わせたインスリン量の変更が可能になります。

低血糖リスクの軽減

- インスリンポンプは重度低血糖イベントリスクを最大 **85%** まで低減させることが報告されています。¹

あなたの将来のために

インスリンポンプは、より良好な血糖コントロールを可能にし、長期的な合併症リスクの軽減が可能になります。²



眼の障害 (網膜症)

最大で76%まで低減できる可能性があります。²



心血管の障害

最大で41%まで低減できる可能性があります。²



神経障害 (ニューロパシー)

最大で56%まで低減できる可能性があります。²



腎障害

最大で69%まで低減できる可能性があります。²

